

# ALPS処理水とは

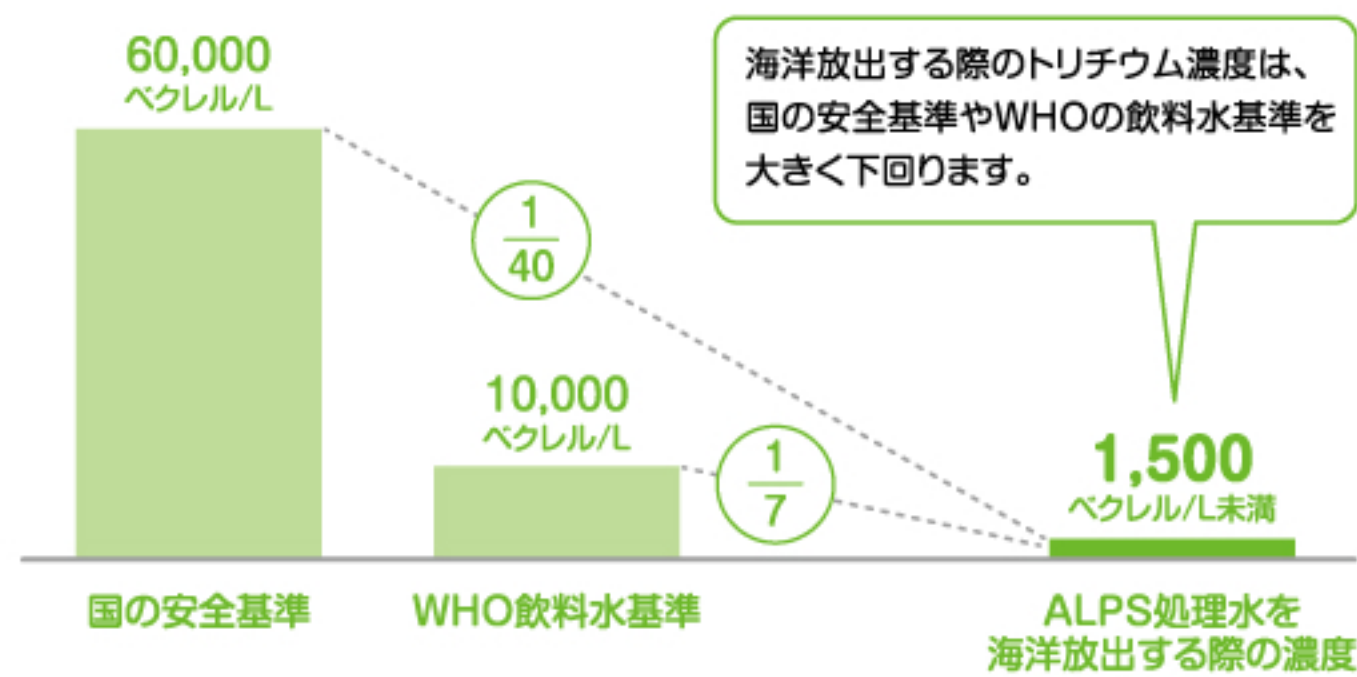
## 正しく知ることが復興応援の第一歩

ALPS処理水は、東京電力福島第一原発の建屋内にある放射性物質を含む水について、トリチウム以外の放射性物質を、安全基準を満たすまで浄化した水のことです。トリチウムについても安全基準を十分に満たすよう海水で大幅に薄めてから放出します。

## 海洋放出のプロセス



## トリチウム濃度の比較

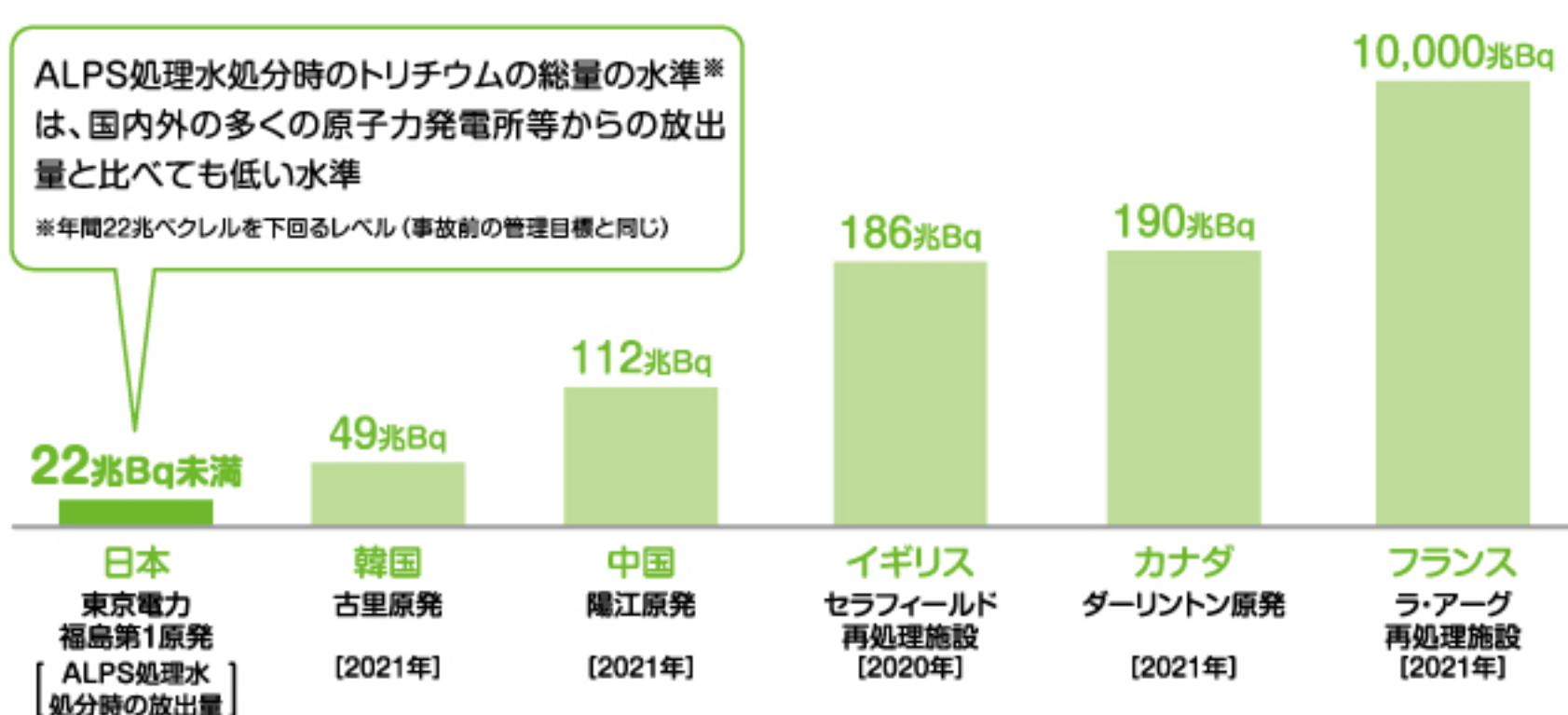


トリチウムとは、水素の仲間(三重水素)で、雨水や海水、水道水など、私たちの身体や自然界の中に広く存在しています。

トリチウムは酸素と結びつき、水とほぼ同じ性質の液体として存在しています。そのため、水の中からトリチウムだけを分離することは極めて難しく、処理の行程で取り除くことができません。

## 世界の原子力関連施設のトリチウム年間処分量(液体)

世界各国の原子力関連施設は、安全基準を守った上でトリチウムを処分しています。これらの施設周辺からは、トリチウムが原因とされる影響は見つかっていません。



出典:「みんなが知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと」(経産省) ([https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo\\_osensui/shirou\\_alps/no4/](https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/shirou_alps/no4/)) をもとに復興庁作成